



飯塚警察署だより

【問合せ先】 福岡県飯塚警察署 ☎21・0110



交通事故から子どもを守る ～家庭で教える交通ルール～

■ 小学校1年生の歩行中の死者・重傷者は6年生の約2.9倍！

警察庁が令和元年から令和5年までに起きた交通事故の分析をしたところ、歩行中の小学生の死者・重傷者はこの5年間で2,011人。学年別にみると、小学校1年生は472人、6年生は162人で、比較するとなんと約2.9倍も件数が多いことがわかりました。

1年生になると行動範囲が広がり、一人歩きをする時期でもあります。子どもたちが交通ルールを身につけることができるように、家庭内での交通安全教育へのご協力をお願いします。

※政府広報オンライン「新1年生を交通事故から守るには」より引用



「どうして」を教える

子どもは危険な行為と理解していない場合が多くあります。「どうして」危険なことなのかを教えましょう。

一緒に歩く

通学路や公園など、子どもの行動範囲を一緒に歩きながら、交通ルールや安全な歩き方を身につけさせましょう。



お手本になる

子どもは大人の真似をします。子どものお手本になれるよう、大人も交通ルールを守りましょう。

横断歩道の渡り方

子どもの安全確認や判断能力は未熟です。

「止まって」「見て」
「合図を出して」「待って」

渡ることを繰り返し練習し、習慣化させましょう。

1 おうだんはどうのてまえでとまる



しんごうのないおうだんはどうでも、かならずとまろうね

2 しんごうはなにいろ？



3 みぎ、ひだり、みぎをかくにん



4 てをたかくあげて



5 きをつけてわたろう

